



2026年を迎えて 本年は「火事のない京都を」

予防部予防課より



令和7年12月中の火災分析

- ・12月中に発生した火災は26件で、前年同月と比較して3件の減少でした。
- ・主な火災原因は、こんろが5件、電気機器が5件、たばこが3件、放火（疑念）が2件、暖房器具が2件、ガス・油類引火が2件などでした。
- ・建物火災が26件発生し、住宅で17件、飲食店、工場・作業場で各2件などでした。（令和7年中に発生した火災は288件で、前年と比較して21件の増加でした。）

火災原因別

	こんろ	電気機器	たばこ	放火	暖房器具	ガス油類引火	その他	計
件数	5	5	3	2	2	2	7	26

行政区別

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	計
件数	0	4	2	1	1	3	0	2	3	1	9	26

【トピックス】 2025年（令和7年）の火災について

- ・京都市内では288件の火災が発生しました。
 - ・12名の方が火災により亡くなりました。
 - ・火災原因では「たばこ」が最も多く発生しました。
 - ・次いでリチウムイオン電池などの「電気機器」が原因の火災が増加しました。
- より詳しく知りたい方は、下記の二次元コードをご覧ください。

火の用心の徹底
ありがとう！！
2026年も頼むで！



京都市消防局HPへ



令和7年中
災害発生状況
（速報値）



●冬期は暖房器具が原因の火災に注意！

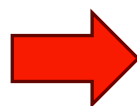
暖房器具火災の約7割が電気ストーブです！

過去に発生した京都市内における暖房器具火災の約7割は電気ストーブが原因となっています。

電気ストーブ火災の発生原因は、ほとんどが布団や衣類などの燃えやすいものが接触したことによるもので、次のような事案があります。

- ・ストーブの横に置いていた燃えやすいものが接触して火災になった。
- ・ストーブの上に干していた洗濯物が落下して火災となった。
- ・就寝中に布団が電気ストーブに接触して火災となった。

暖房器具火災の火災予防情報はこちらの
二次元コードからご確認ください



発行：京都市消防局